

## 【第1号議案】

# 令和元度 活 動 報 告 書

特定非営利活動法人 高槻名誉市民を語り継ぐ会

### I 事業期間

平成31年4月1日～令和2年3月31日

### II 事業の成果

今期の目標であった会員の拡大を目指すことに対しては、十分な結果が得られなかった。しかし、高碕の功績を継承することに関しては、見学会・講演会開催による参加者を見る限り、成果を得ることができた。また、第三回高碕達之助記念講演の成功はこれからの活動の指針になる。このことは、“高碕に学ぶ会”との連携が計れたことが要因である。しかし、賢人を発掘事業においては、中川塾を中心に開催する予定であったが、十分な成果を得ることができず、次年度への課題となった。

### III 事業の実施状況

#### 1 名誉市民の功績を顕彰・継承する事業

(1) 「高碕達之助に学ぶ会」と連携し、課外活動・研修を行う。

【内 容】見学会3回、講演会2回

【実施場所】見学先・生涯学習センター・高槻現代劇場

実施日	形態	形態・開催場所	内容
6/14	講演会	生涯学習センター	1) 歯舞漁業組合専務理事の講演（参加約60名） 高碕翁の功績「日ソ貝殻島昆布漁民間協定締結」に関し 高碕翁の功績の大きさの講演内容。
8/19	見学会	東洋製罐株式会社工場	2) 高碕翁が創設した工場を訪問する（参加者34名）
10/9	見学会	岡崎嘉平太記念館	3) 岡山にある高碕翁の後継者「岡崎嘉平太記念館」訪ねる。他に「山田方谷記念館」（参加者25名）
12/11	見学会	高碕達之助記念館	4) 宝塚にある「高碕達之助記念館」を訪ねる。高碕が創設した「東洋食品工業短期大学」も。（参加者24名）
2/24	講演会	現代劇場	5) 第三回高碕達之助記念講演「終戦前後の満州と高碕先生」行う。講師：古海元東京銀行常務（参加者230名）

- 1) 「日ソ漁業協定」講演：高碕翁がソ連に拿捕される漁民を思い、この問題を解決することが自分の余生にかけられた最大の責任と考えたことなど、現状の歯舞のお話も入れ、現地の理事が語られたことに、高碕翁の偉大さ・世界観を顕彰できた。
- 2) 「東洋製罐株式会社工場」見学：高碕翁は製罐と缶詰製造の分離が必要と、製罐専門の会社を設立した。その志とロマンを感じる見学であった。
- 3) 「岡崎嘉平太記念館」見学：岡崎はLT貿易の時、高碕翁とは副団長・団長で中国として交渉した。高碕翁亡き後の後継者として、日本側の窓口として活躍された。岡崎を知る中で高碕翁の偉大さを学べた見学であった。
- 4) 「高碕達之助記念館」「東洋食品工業短期大学」見学：短期大学は高碕翁が缶詰技術者を養成し、人類の福祉と産業の発展のために設立した。翁の教育環境の設立が、如何に重要な理念を学ぶことができた。
- 5) 「終戦前後の満州と高碕先生」講演：講演者の古海様のお父様と高碕翁は満州時代一緒に苦勞した人である。講演者の実際経験された引揚者の話は悲壮であり、如何に高碕翁たちが苦勞なされたかの話で、高碕翁の人間尊重の思想を学べた。

(2) 例会として北村塾「高碕達之助研究会」を開催する。

【内 容】研究会8回開催

【実施場所】クロスパル高槻

開催日	題目	内容	発表者
4/1	パネルディスカッション	■3人で塾長と生徒の設定で、高碕翁の世界観・功績などをディスカッション行う。	内野・川崎・北村
5/6	高碕翁の青年期に影響を与えた高山と押川	■高山は明治時代の文芸評論家で文学博士、押川は明治時代の冒険小説作家。	北村
9/2	高碕達之助と東洋製罐		北村
10/2	東洋水産株の興亡 (前編)	■三重大学の研究紀要のもとに高碕翁が務めていた東洋水産に関するの発表行う。	北村
11/4	高碕翁の孫弟子としての企業人生	■発表者が出版した「雑木林」から企業人生における四方山話が行われる。	甘田
12/2	東洋水産株の興亡 (後編)	■東洋水産(株)設立や国や三重県内外の諸事情など前編に引き継ぎの発表行う。	北村 村上
2/3	NHK 特集ビデオ「どこにもない国」(1)	■一昨年放映されたNHK 特集ドラマ、ポール・邦昭・マルヤマ著“どこにもない国”を再鑑賞する。	宮本
2/17	NHK 特集ビデオ「どこにもない国」(2)	■前回2/3から続く	北村

## 2. 賢人の発掘を行う事業

(1) 中川塾「高槻をもっと知ろう～高槻市を振り返る～」を開催する

【内 容】発表会5回、その他2回

【実施場所】クロスパル高槻他

開催日	題目	内容	発表者
4/15	高槻の風景～寒天作り～	■ドラマ“銀二貫”をもとに寒天作りの話、高槻は近年適地ではなくなった。	中川
5/20	選挙から高槻を見る	■今回の選挙を振り返り、現在の高槻のお話し。	中川
7/15	意見交換：PARTY	■親睦会を開催する中で今後の会について。	馬淵
10/21	私が見た流通業界	■阪急高槻店へと模様替えされ“高槻の流通史、流通裏事情”を通じて街の来し方行く末。	宮本
11/18	皇統と郷土高槻	■天皇制を見る中で、日本人のわすれてはならない精神のお話し。	三輪
12/16	軍歌史	■各国の軍歌を紹介する中で日本人の精神文化の根源をさぐるお話し。	三輪
1/20	ディスカッション	■会存続の提案打合せ。	北村

以上